

E・TAM E・MA 学舎

自治の感性を磨く！ 市民の学び舎・たま

TAMANA BI 第28回 三多摩自治体学校 in 多摩市

vol.1 ● **3/25**(日)、**4/8**★(日) vol.2 ● **4/15**(日) vol.3 ● **4/29**(日)

@ 恵泉女学園大学南野キャンパス(★:永山公民館調理室)

● 後援: 多摩市 多摩市教育委員会

2011年3月11日に東日本を襲った大地震は、多くの尊い命を奪い、築き上げてきた人々の生活を破壊しました。そして、原発と放射能、環境、エネルギーなど、多くの課題に直面しているわたしたちは、人類・自然・地球の未来を考えながら、復旧・復興・再生をめざし、創造しなければなりません。

日本国憲法に地方自治が書き込まれて65年。今もとめられている地方自治をつくるために、「自治の感性を磨こう!」と集まった多摩市民と多摩地域を拠点として活動するNPO法人多摩住民自治研究所とが実行委員会を結成し、このたび「市民の学び舎・たま」を企画しました。

「市民の学び舎」は、みんなが生徒であり先生であり、学びの場を一緒につくります。そして、市民、研究者、地方議員、自治体職員、学生など、誰もが自由に参加し、考えや体験を継続的に発表できる「まちづくりの学校」をめざします。 「市民の学び舎・たま」学校長 荒井文昭(首都大学東京教授)

map ◀ 会場: 恵泉女学園大学南野キャンパス 東京都多摩市南野2-10-1 tel 042-376-8211

<http://www.keisen.ac.jp/about/campus/access.html> ■ 京王線・小田急線・多摩モノレール

「多摩センター駅」より路線バス・8番のりば/多01/多03/多04/桜46/永65【恵泉女学園大学入口】下車3分

⑤ 駐車場あります(キャンパス内収容台数約80台・無料)。午前中からご参加の方は昼食をご用意ください。

参加チケット: 1プログラム1枚 **500円** / 5枚セット **2000円** (一部のプログラム2枚) **当日販売あります**

チケット取扱い店 ◆ 喫茶れすと(永山公民館ベルブ3F) ◆ 喫茶ふう(関戸公民館ヴィータ7F)

◆ あしたや(諏訪名店街) ◆ 福祉ショップきずな(多摩センター駅バスロータリー)

協力: 恵泉女学園大学人間社会学部 / 福島とつながる種まきプロジェクトネットワーク

主催・問合せ: 「市民の学び舎・たま」実行委員会(株尾) 080-5437-1302 TA_MA_NA_BI@excite.co.jp

NPO法人 多摩住民自治研究所 042-586-7651 tamajitiken1972@yahoo.co.jp



🚗 (P) 駐車場あります(キャンパス内収容台数約80台・無料)

プログラム ●各教室は30分前に開場します ●1プログラム/チ
●都合により内容が変更されることもあります ●「自治

vol.1 ● 3/25 (日)

10:00am~12:30 [TA・MA・NA・BI] 分科会

@1階 視聴覚室

◆ドキュメンタリー映画『私』を生きる』 4/15、29
(チケット2枚/2回目上映 1:30pm~) も上映!!

監督・撮影・編集:土井敏邦

いま学校で、そして日本で何が起きているのか?“教育現場での言論と思想の統制”に抗う3人の教師たちの姿をみつめる。—職員会議では職員の意向を確認するための挙手・採決を行うことを禁止され、卒業式や入学式で国歌である君が代の斉唱・起立を職務命令で強制されるなど、教師たちの言論が、急激に統制されてきている東京都の教育現場。教育論を超えて、自分が自分であるために歩んできた物語。

<http://www.doi-toshikuni.net/j/info/ikiru.html>
(日本/2010年/日本語/カラー/デジタル/138分)



@1階 オープンカフェ 12:00~4:00pm

◆福島食・物産コーナー

恵泉女学園大学人間社会学部
福島とつながる種まきプロジェクトネットワーク
農と食を真ん中にすえた福島への永続的な支援プロジェクトと持続可能な社会に向けた取り組みを紹介します。

共鳴・共感・協働のシンポジウム!

@2階 2A教室 10:00am~12:30

◆“まちづくりポイント”の活用による「共鳴・共感・協働の地域公共圏」づくり

座長:片桐徹也(たま地域貢献ポイント検討推進会議 代表幹事・多摩大学経営情報学部客員准教授) パネリスト数名
地域SNS(たまタウンチップ)の活用で、地域コミュニティ、地域と大学(生)の連携、「衣食住学遊」が融合した、たまライブが醸成されていくための仕掛け、戦略について討議します。
(東京都新しい公共支援事業・新しい公共の場づくりのためのモデル事業)

1:00pm~[TA・MA・NA・BI] オープニング

@2階 80周年記念室

- ▼学び舎・学校長あいさつ 荒井文昭
- ▼多摩研理事長あいさつ 大和田一紘
- ▼「恵泉発、市民のみなさんへ」 上村英明

みんなが生徒で先生 市民の学び舎!

[TA・MA・NA・BI] 記念講演 1:30pm~4:00pm

◆『自治体防災新時代

~東日本大地震を経験して~

講師:中村八郎

(NPO法人くらしの安全安心サポーター理事長)

東日本大震災は、わが国の地域社会がいかに災害に対して脆弱であったかをさまざまな面で明らかにしました。特に、これまで自治体が重視してきた応急的な防災対策がほとんど機能せず、多大な住民災害を発生させた事実を踏まえ、現状の防災計画の問題と災害に強い地域・都市づくりの視点から『地域防災計画』の方向性、取り組み方を考えます。



vol.3 ● 4/29 (日)

10:00am~1:00pm

[TA・MA・NA・BI] 記念シンポジウム

@2階 80周年記念室

◆『3・11以降の市民・住民自治のかたち ~福島・沖縄から多摩を考える~』

シンポジスト:

小森陽一(東京大学教授)/池上洋通(NPO法人 多摩住民自治研究所研究員室長)/平和元(弁護士)/上村英明(恵泉女学園大学教授)/神子島健(東京大学助教)

東日本大震災と福島第一原発事故からの復興再生のなか、憲法改正をも射程においた「グローバル国家」路線が、現政権で追求される一方、戦後憲法体制と地方自治、その基本にあるべき住民の生存権や地域経済の持続的発展がますます危機に瀕しています。原発と基地、福島、沖縄が抱える地方自治と国政の問題を直視しながら、東京都民400万人が暮らす多摩地域の未来像を考えます。

21世紀の多摩のかたち 日本のかたち

[TA・MA・NA・BI] 分科会

@2階 2D教室 2:00pm~5:00pm

◆『よくわかる財政分析講座 ~市民の手による財政白書づくり~』

講師:大和田一紘

(NPO法人多摩住民自治研究所理事長)

財政がわからずに残念な思いをいませんか? 実はどのまちにも改善したい多くの財政問題があります。どんな資料をどこから入手し、どう読み込むか? 財政指数の意味は? 50の地域を越えた住民の手による「わがまちの財政白書」も参考に、財政分析の基礎を学びます。



@2階 2E教室 2:00pm~5:00pm

◆『循環型エネルギー社会と “多摩ニュータウン2.0”』

講師:秋元孝夫(一級建築士、たま・まちせん副理事長)

多摩センター地区の地域冷暖房システムを、熱源から電力と熱を生産し供給する「コジェネレーション」システムに置き換える構想や、市民出資による太陽光発電パネル普及促進事業の可能性を語ります。



@1階 オープンカフェ ◆10:00am~ ◆恵泉発福島とつながる種まきプロジェクト

澤登早苗・高橋清貴(恵泉女学園大学人間社会学部/福島とつながる種まきプロジェクトネットワーク)

@1階 視聴覚室 ◆2:00pm~ ◆映画『私』を生きる』(チケット2枚) 3/25プログラム内容(上)を参照ください。

オーガニック カフェ& パネル展示!

午前中からご参加の方は昼食をご用意ください

チケット1枚(一部を除く)でご参加いただけます
関連の書籍を多数販売いたします

TAMA-NABI 自治の感性を磨く! 市民の学び舎・たま

VOL.2 ● 4/15 (日)

10:00am~12:00

[TA・MA・NA・BI] 記念ワークショップ

@ 2階 80周年記念室

◆『学ぶ権利の現在とこれから①』

～教育基本条例について考える～

講師: 荒井文昭 (首都大学東京教授 教育行政学 学び舎学校長)

・教育の地方自治と教育基本条例

～大阪における教育基本条例をめぐる動向～

・教育に求められる自主性と教員の身分

～正田教諭分限免職取消訴訟の取り組み～

※ジョニーHによるミニ・コンサートも予定しています。



[TA・MA・NA・BI] 分科会

@ 2階 2D教室 1:00pm~4:00pm

◆『学ぶ権利の現在とこれから②』

～社会教育をどうデザインするか～

講師: 荒井文昭

「権利としての学び」を実現させ、多摩地域での地方自治をより豊かにしていくためには、何が今必要か。大阪における教育基本条例をめぐる動向をふまえ、学校に求められる自主性と教員の身分をめぐる状況、そして住民の学びを支援していく社会教育をめぐる動向について、レポートをもとに話し合います。

・住民の自由な学びを支援する取り組み

～多摩地域における公民館をめぐる動向～



@ 2階 80周年記念室 2:00pm~5:00pm

◆『閉塞の時代 ～地方議会は何ができるか?～』

コーディネータ: 池上洋通

(NPO法人 多摩住民自治研究所研究員室長)

司会: 大嶽貴恵 (昭島市議)

パネリスト: 多摩市議会・小林憲一 (議員) 助言者

東村山市議会・石橋光明 (議会改革特別委員長)

日野市議会・菅原なおし (議員)

(1) 新人議員の発言、主張報告

(2) 多摩市議会の「議会改革」の到達点と課題

報告…多摩市議会・安藤邦彦 (副議長)

(3) パネル討論「多摩地域の議会改革…試みの交流」

東西南北の多摩エリアから市議が勢揃い!

@ 2階 2G教室 2:00pm~5:00pm

◆『自治体職員の役割』

～岩手県陸前高田市職員とともに考える～

講師: 阿部 勝 (陸前高田市職労前委員長、気仙地域労運事務局長)

3・11東日本大震災の大津波に陸前高田市市街は、市役所を含め、多くの建物と人々が飲み込まれた。市の職員も多くの命を落とすこととなった。そんな中、自治体職員は、市民のために働いた。どのような状況であったのか。そして、どのような苦勞と苦難があったのか。また、ボランティアとして、被災地で活動をされた方々の話も伺い、ディスカッションをします。

現地の声に学び、考える震災復興!

@ 2階 2E教室 1:00pm~4:00pm

◆こどもの“しあわせ度”を調べてみよう

講師: 嶋村仁志 (TOKYO PLAY 代表)

東京都の次世代育成支援行動計画における当事者の視点からみた評価調査やさまざまな子育て支援事業における保護者や子ども自身へのヒヤリング体験をお聞きしながら、調べること・気づくことの楽しさを知るワークショップです。

調べて見える今在の意味と未来のカたち!

@ 2階 2F教室 1:00pm~4:00pm

◆『あなたの隣の米軍施設』

～旧多摩弾薬庫の現在・過去・未来～

講師: 神子島 健 (東京大学助教)

多摩市と稲城市にまたがる米軍施設、多摩サービス補助施設(旧多摩弾薬庫)。かつてはアメリカ政府の返還候補リストに載ったこともあります。今やほとんどの人がその過去を知らないのではないのでしょうか。何のためにあるのかよく分からないため、市民のほとんどが無関心です。他人事、ではなく、私たち一人ひとりの問題として、この施設の意義を考える必要があるのではないのでしょうか。

@ 2階 2G教室 1:00pm~3:00pm

◆『畏れること、祈ること』

～自然と人間を見つめる旅～

講師: 桃井和馬

(写真家、ノンフィクション作家、恵泉女学園大学客員教授)

「停電があたりまえの社会」と「停電しないことがあたりまえの社会」。2011年3月11日の震災と原発事故後、インド・ラダックを訪問し、自らの身体性と直観で見つめた文明、人間、自然。そして、そのプロセスとしての写真(アート)とは。



@ 1階 視聴覚室

1◆映画『それでも種を播く』(チケット2枚) 12:30~

◆12:30~(30分) 澤登早苗「福島有機農家の現状」

◆1:30pm~(20分) 笠原真弓さん(国際有機農業映画祭運営委員)による解説

福島第一原発事故とそれによる放射能汚染は、有機農業における生命のつながりを暴力的に断ち切った。その痛みの中で、なお「つながり」を取り戻すための種をまこうとしている人びとの姿。(構成:小池菜採 制作:国際有機農業映画祭運営委員会 2011年/日本/30分/日本語)



2◆映画『“私”を生きる』(チケット2枚) 2:00pm~

3/25プログラム内容(左ページ)を参照ください。

@ 野外ウォーキング講座 1Fオープンカフェ集合!

10:00am(集合)~3:30pm

◆「よこやまの道」を歩こう

講師: 宮田太郎 (古街道研究者、

歴史古道まちづくりプランナー、歴史古道団団長)

奈良の都へ続く「古代東海道」「鎌倉古道」「奥州古道」「古代甲州街道」「大山西道」など、多摩市周辺は貴重な歴史古道の宝庫です! 「よこやまの道」を歩きながら、多岐にわたる研究と活動のお話を伺い、いにしへの多摩の地、浪漫を春風とともに感じませんか。

